

令和 3 事業年度

財 務 諸 表

第17期

自) 令和 3 年 4月 1 日

至) 令和 4 年 3月31日

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

(鉄 道 勘 定)

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日)

鉄道勘定

(単位：円)

資産の部			
I	流動資産		
	現金預金	10,388,514,361	
	未収入金	532,202,471	
	前払金	336,725,577	
	その他	30,313,000	
	流動資産合計		11,287,755,409
II	固定資産		
1	有形固定資産		
	建物	444,825,064	
	減価償却累計額	△ 318,240,817	126,584,247
	構築物	281,972,560,085	
	減価償却累計額	△ 139,395,609,545	142,576,950,540
	機械装置	103,693,570	
	減価償却累計額	△ 98,414,591	5,278,979
	工具器具備品	898,075	
	減価償却累計額	△ 853,185	44,890
	土地		32,827,179,271
	建設仮勘定	33,107,794,306	
	減損損失累計額	△ 33,107,794,305	1
	有形固定資産合計		175,536,037,928
2	無形固定資産		
	借地権	23,669,692	
	無形固定資産合計		23,669,692
	固定資産合計		175,559,707,620
	資産合計		186,847,463,029

負債の部				
Ⅰ 流動負債				
未払金		305,801,204		
未払費用		179,125		
前受金		171,214,939		
引当金				
賞与引当金	579,032	579,032		
流動負債合計			477,774,300	
Ⅱ 固定負債				
鉄道施設建設見返債務（注）		149,088,948,341		
引当金				
退職給付引当金	60,216	60,216		
固定負債合計			149,089,008,557	
Ⅲ 法令に基づく引当金等				
鉄道施設管理引当金（注）		6,052,431,877		
法令に基づく引当金等合計			6,052,431,877	
負債合計				155,619,214,734
純資産の部				
Ⅰ 資本金				
政府出資金		32,676,500,000		
資本金合計			32,676,500,000	
Ⅱ 資本剰余金				
施行法第15条による積立金		3,359,250,829		
その他行政コスト累計額（注）				
減価償却相当累計額（△）	△ 10,218,451,942			
減損損失相当累計額（△）	△ 2,061,460,454			
除売却差額相当累計額（△）	△ 78,355,917	△ 12,358,268,313		
資本剰余金合計			△ 8,999,017,484	
Ⅲ 利益剰余金				
前中期目標期間繰越積立金（注）		5,048,717,969		
積立金		1,819,507,724		
当期末処分利益		682,540,086		
（うち当期総利益 682,540,086）				
利益剰余金合計			7,550,765,779	
純資産合計				31,228,248,295
負債純資産合計				186,847,463,029

（注）これらは、独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目です。

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

行政コスト計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

鉄道勘定

(単位：円)

I	損益計算書上の費用		
	鉄道施設利用業務費	8,510,295,071	
	一般管理費	12,859,558	
	雑損	3,590	
	損益計算書上の費用合計		8,523,158,219
II	その他行政コスト		
	減価償却相当額（注）	728,567,074	
	除売却差額相当額（注）	1,626,728	
	その他行政コスト合計		730,193,802
III	行政コスト		9,253,352,021

(注) これらは、独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目です。

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

損 益 計 算 書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

鉄道勘定

(単位：円)

経常費用

鉄道施設利用業務費

利用料原価

鉄道施設減価償却費	7,987,372,285		
租税公課	146,217,706		
支払管理委託費	364,326,444		
固定資産除却損	12,013,222		
その他	365,414	8,510,295,071	8,510,295,071

一般管理費

人件費

役員報酬	736,858		
給料手当	5,267,820		
賞与	1,297,455		
賞与引当金繰入額	579,032		
退職給付費用	33,882		
法定福利費	1,692,943		
雑給	92,377	9,700,367	

経費

地代家賃	1,218,075		
リース料	18,143		
水道光熱費	33,383		
租税公課	333,224		
旅費交通費	70,469		
通信運搬費	156,625		
消耗品費	37,668		
業務委託費	1,141,401		
雑費	55,628		
その他	94,575	3,159,191	12,859,558

雑損

			3,590
--	--	--	-------

経常費用 合 計

8,523,158,219

経常収益

鉄道施設利用料収入

279,622,166

鉄道維持修繕交付金収入

725,474,485

その他の収入

16,218,913

補助金等収益（注）

本州四国連絡橋維持修繕政府負担金	30,313,000	30,313,000
------------------	------------	------------

鉄道施設建設見返債務戻入（注）

7,821,632,315

財務収益

受取利息	39,640	39,640
------	--------	--------

雑益

10,122

経常収益 合 計

8,873,310,641

経 常 利 益

350,152,422

臨時利益

鉄道施設管理引当金戻入（注）

195,121,113

当 期 純 利 益

545,273,535

前中期目標期間繰越積立金取崩額（注）

137,266,551

当 期 総 利 益

682,540,086

（注）これらは、独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目です。

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

純資産変動計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

鉄道勘定	Ⅰ 資本金		Ⅱ 資本剰余金					Ⅲ 利益剰余金				純資産合計	
	政府出資金	資本金合計	施行法第15条による積立金	その他行政コスト累計額			資本剰余金合計	前中期目標期間繰越積立金	積立金	当期末処分利益	うち当期総利益		利益剰余金合計
				減価償却相当累計額(△)	減損損失相当累計額(△)	除売却差額相当累計額(△)							
当期首残高	32,676,500,000	32,676,500,000	3,359,250,829	△ 9,493,379,433	△ 2,061,460,454	△ 73,234,624	△ 8,268,823,682	5,185,984,520	1,339,530,927	479,976,797	-	7,005,492,244	31,413,168,562
当期変動額													
Ⅰ 資本剰余金の当期変動額													
固定資産の除売却													
減価償却				3,494,565			△ 5,121,293						△ 1,626,728
Ⅱ 利益剰余金の当期変動額				△ 728,567,074			△ 728,567,074						△ 728,567,074
(1) 利益の処分又は損失の処理													
利益処分による積立													
(2) その他									479,976,797	△ 479,976,797	0	0	0
当期純利益													
前中期目標期間繰越積立金取崩額										545,273,535	545,273,535	545,273,535	545,273,535
当期変動額合計	0	0	0	△ 725,072,509	0		△ 5,121,293	△ 137,266,551	479,976,797	202,563,289	682,540,086	545,273,535	△ 184,920,267
当期末残高	32,676,500,000	32,676,500,000	3,359,250,829	△ 10,218,451,942	△ 2,061,460,454	△ 78,355,917	△ 8,999,017,484	5,048,717,969	1,819,507,724	682,540,086	682,540,086	7,550,765,779	31,228,248,295

(単位:円)

(単位:円)

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

鉄道勘定

(単位：円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー

原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 1,010,155,034
人件費支出	△ 10,425,018
その他の業務支出	△ 146,888,224
鉄道施設利用料収入	316,063,920
鉄道維持修繕交付金収入	762,000,000
補助金等収入	29,706,000
その他の業務収入	16,219,225
消費税等還付額	119,651,634
小計	76,172,503
利息及び配当金の受取額	39,640
業務活動によるキャッシュ・フロー	76,212,143

II 資金増加額 76,212,143

III 資金期首残高 10,312,302,218

IV 資金期末残高 10,388,514,361

利益の処分に関する書類

鉄道勘定

(単位：円)

I. 当期末処分利益		682,540,086
当期総利益	682,540,086	
II. 積立金振替額		5,048,717,969
前中期目標期間繰越積立金	5,048,717,969	
III. 利益処分量		
積立金	<u>5,731,258,055</u>	<u><u>5,731,258,055</u></u>

重要な会計方針 鉄道勘定

当事業年度より、改訂後の「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」（令和3年9月21日改訂）並びに「『独立行政法人会計基準』及び『独立行政法人会計基準注解』に関するQ&A」（令和4年3月最終改訂）を適用して、財務諸表等を作成しております。

なお、独立行政法人会計基準等のうち、時価の算定に係る改訂内容は令和4事業年度から、収益認識に係る改訂内容は令和5事業年度から、それぞれ適用します。

1 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法により行っております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	2年	～	32年
構築物	2年	～	50年
機械装置	2年	～	8年
工具器具備品			2年

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87第1項）の減価償却相当額については、減価償却相当累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産

定額法により行っております。

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87第1項）の減価償却相当額については、減価償却相当累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

2 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

役職員に支給する賞与に充てるため、支給見込額のうち当期の勤務に係る部分を計上しております。

(2) 退職給付引当金

職員に係る退職給付引当金については、全職員が出向者で構成されており、出向元において退職金の財源が措置されることから計上しておりません。

役員については、退職手当の期末における要支給額の全額を計上しております。

3 法令に基づく引当金等の計上根拠及び計上基準

鉄道施設管理引当金

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に関する省令（平成17年国土交通省令第64号）第10条第2項に基づき、毎事業年度の鉄道施設に係る租税及び管理費に相当する鉄道事業者から収受する利用料の額を平準化することを目的として、当該利用料の額から毎事業年度の当該鉄道施設に係る租税及び管理費の合算額を減じて得た額を期首残高に加算した額を計上しております。

4 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

ただし、キャッシュ・フロー計算書の消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

注記事項
鉄道勘定

1 貸借対照表関係

その他行政コスト累計額に係る注記
出資を財源に取得した資産に係る金額 △ 11,545,322,727 円

2 行政コスト計算書関係

- (1) 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト
- | | |
|-------|-------------------|
| 行政コスト | 9,253,352,021 円 |
| 自己収入等 | △ 8,842,997,641 円 |
| 機会費用 | 43,552,829 円 |
- 独立行政法人の業務運営に関して
国民の負担に帰せられるコスト 453,907,209 円
- (2) 機会費用の計上方法
- ①政府出資又は地方公共団体出資等から生ずる機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の令和4年3月末利回りを参考にして0.210%で計算しております。
- ②国又は地方公共団体との人事交流による出向職員から生ずる機会費用
当該職員が国又は地方公共団体に復帰後退職する際に支払われる退職金のうち、独立行政法人での勤務期間に対応する部分について、退職金支給規程に定める退職手当支給基準等を参考に計算しております。

3 キャッシュ・フロー計算書関係

キャッシュ・フロー計算書の資金の期末残高の貸借対照表科目の内訳

現金預金	10,388,514,361 円
資金期末残高	10,388,514,361 円

4 有価証券関係

該当はありません。

5 重要な債務負担行為

該当はありません。

6 重要な後発事象

該当はありません。

7 金融商品関係

- (1) 金融商品の状況に関する事項
未収入金は、主に高速道路会社に対するものであり、回収可能性は高いものであります。
- (2) 金融商品の時価等に関する事項
期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)			
	貸借対照表計上額	時価	差額
① 現金預金	10,388	10,388	-
② 未収入金	532	532	-
③ 未払金	(305)	(305)	-

(注1) 負債に計上されているものは、() で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

- ① 現金預金、② 未収入金、③ 未払金
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

8 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

当法人は、役員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度を採用しております。また、国からの出向役職員の退職給付に充てるため、国家公務員共済組合法の退職等年金給付制度を採用しております。非積立型の退職一時金制度では、給与と在職期間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

(2) 確定給付制度

① 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	81,523 円
退職給付費用	33,882 円
退職給付の支払額	<u>55,189 円</u>
期末における退職給付引当金	<u>60,216 円</u>

② 退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	33,882 円
----------------	----------

(3) 退職等年金給付制度

当法人の退職等年金給付制度への要拠出額は、12,396円であった。

附 属 明 細 書
(鉄 道 勘 定)

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期末残高	摘 要
						当期償却額		当期減損額			
有形固定資産 (減価償却費)	建物	417,127,980	0	0	417,127,980	298,425,518	17,627,442	0	0	118,702,462	
	構築物	254,364,253,048	568,668,534	23,796,928	254,909,124,654	129,519,715,559	7,783,338,931	0	0	125,389,409,094	
	機械装置	130,576,829	0	32,955,623	97,621,206	92,645,843	261,196	0	0	4,975,363	
	工具器具備品	842,156	0	0	842,156	800,061	0	0	0	42,095	
	建設仮勘定	31,046,333,852	0	0	31,046,333,852	0	0	31,046,333,851	0	1	
	計	285,959,133,865	568,668,534	56,752,551	286,471,049,848	129,911,586,981	7,801,227,569	31,046,333,851	0	125,513,129,015	
有形固定資産 (減価償却相当額)	建物	27,697,084	0	0	27,697,084	19,815,299	1,170,453	0	0	7,881,785	
	構築物	27,066,368,487	0	2,933,056	27,063,435,431	9,875,893,986	715,036,709	0	0	17,187,541,446	
	機械装置	8,260,601	0	2,188,237	6,072,364	5,768,748	0	0	0	303,616	
	工具器具備品	55,919	0	0	55,919	53,124	0	0	0	2,795	
	建設仮勘定	2,061,460,454	0	0	2,061,460,454	0	0	2,061,460,454	0	0	
	計	29,163,842,545	0	5,121,293	29,158,721,252	9,901,531,157	716,207,162	2,061,460,454	0	17,195,729,642	
非償却資産	土地	32,827,179,271	0	0	32,827,179,271	0	0	0	0	32,827,179,271	
	計	32,827,179,271	0	0	32,827,179,271	0	0	0	0	32,827,179,271	
有形固定資産合計	建物	444,825,064	0	0	444,825,064	318,240,817	18,797,895	0	0	126,584,247	
	構築物	281,430,621,535	568,668,534	26,729,984	281,972,560,085	139,395,609,545	8,498,375,640	0	0	142,576,950,540	
	機械装置	138,837,430	0	35,143,860	103,693,570	98,414,591	261,196	0	0	5,278,979	
	工具器具備品	898,075	0	0	898,075	853,185	0	0	0	44,890	
	土地	32,827,179,271	0	0	32,827,179,271	0	0	0	0	32,827,179,271	
	建設仮勘定	33,107,794,306	0	0	33,107,794,306	0	0	33,107,794,305	0	1	
	計	347,950,155,681	568,668,534	61,873,844	348,456,950,371	139,813,118,138	8,517,434,731	33,107,794,305	0	175,536,037,928	
無形固定資産 (減価償却費)	借地権	22,195,897	0	0	22,195,897	0	0	0	0	22,195,897	
	鉄道軌道連絡通行施設利用権	4,772,940,712	0	0	4,772,940,712	4,772,940,712	186,144,716	0	0	0	
	計	4,795,136,609	0	0	4,795,136,609	4,772,940,712	186,144,716	0	0	22,195,897	
無形固定資産 (減価償却相当額)	借地権	1,473,795	0	0	1,473,795	0	0	0	0	1,473,795	
	鉄道軌道連絡通行施設利用権	316,920,785	0	0	316,920,785	316,920,785	12,359,912	0	0	0	
	計	318,394,580	0	0	318,394,580	316,920,785	12,359,912	0	0	1,473,795	
無形固定資産合計	借地権	23,669,692	0	0	23,669,692	0	0	0	0	23,669,692	
	鉄道軌道連絡通行施設利用権	5,089,861,497	0	0	5,089,861,497	5,089,861,497	198,504,628	0	0	0	
	計	5,113,531,189	0	0	5,113,531,189	5,089,861,497	198,504,628	0	0	23,669,692	

2. 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
賞与引当金	656,618	579,032	656,618	0	579,032	
計	656,618	579,032	656,618	0	579,032	

3. 退職給付引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
退職給付債務合計額	81,523	33,882	55,189	60,216	
退職一時金に係る債務	81,523	33,882	55,189	60,216	
退職給付引当金	81,523	33,882	55,189	60,216	

4. 法令に基づく引当金等の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
鉄道施設管理引当金	6,247,552,990	0	195,121,113	6,052,431,877	(注)
計	6,247,552,990	0	195,121,113	6,052,431,877	

(注)当該引当金の引当て及び取崩しの基準は、「重要な会計方針」の「3 法令に基づく引当金等の計上根拠及び計上基準」に記載しております。

5. 運営費交付金以外の国からの財源措置の明細

5-1 補助金等の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳						摘 要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	預り補助金等	長期預り補助金等	収益計上	
本州四国連絡橋維持修繕政府負担金	30,313,000	0	0	0	0	0	30,313,000	
計	30,313,000	0	0	0	0	0	30,313,000	

6. 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	1,026	0	55	0
職 員	6,945	1	-	-
合 計	7,971	1	55	0

(注1)上記支給額は千円未満四捨五入で表示しております。

(注2)報酬又は給与の支給額は、賞与及び諸手当を含んでおります。

(注3)役員に対する報酬及び退職手当の支給基準は、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構役員給与規程及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構職員退職手当規程に定め、独立行政法人通則法第50条の2第2項の規定に基づき、国土交通大臣に届け出るとともに、公表しております。

(注4)職員に対する給与及び退職手当の支給基準は、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構職員給与規程及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構職員退職金支給規程に定め、独立行政法人通則法第50条の10第2項の規定に基づき、国土交通大臣に届け出るとともに、公表しております。

(注5)支給人員数は、年間平均支給人員数(単位未満四捨五入)を記載しております。なお、支給額は共通経費を按分した金額を含んでおります。

(注6)非常勤の役員及び職員はおりません。

7. セグメント情報(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

当勘定は単一セグメントによって事業を行っているため、記載を省略しております。